



## エアロメヒコ B737-800、Winglet 破損事例紹介

2012年9月5日、New York JFK 空港を離陸したエアロメヒコの B737-800 が Mexico City 空港に着陸した際に、左側 Winglet を破損する事例が発生しました。現時点で原因は特定されていませんが、左右の Main Gear から発生した振動が Winglet の破損を引き起こしたのではないかと推測されています。

～ 状況の内容は以下の通りです ～

- ⇒当該乗員によると、接地してスポイラーが展開したと同時に激しい Vibration を経験し、Captain は右側の Main Gear が破損したと感じた。14 秒間の激しい振動の後ピタリと止まった。
- ⇒Touch Down 速度は 129kts、Normal Touchdown。
- ⇒客室内の天井パネルやスクリーンが落下（写真参照）。
- ⇒左側のギャレードアのライトが点灯し、ドアも Unlock 状態になった。
- ⇒滑走路表面は Normal で振動を起こす要因は無かった。

